

2011年度

科目名	文学学				
担当教員	井上 新子				
配当	日文2		コード	44027	
開期	後期	講時	木曜日4限	単位数	2
授業テーマ	古典文学の本文				
目的と概要	古典文学の本文をめぐる諸問題について考察する。はじめに、いくつかの作品の事例に触れながら、本文研究に関する用語や方法などについての基礎知識をおさえる。これをふまえ、『堤中納言物語』中の一編「花桜折る少将」と『狭衣物語』(抜粋)を、本文異同に留意しながら読解する。対照的であるとも言えるおのおのの現存伝本の様相とその相違の要因を探究したい。				
成績評価法	平常点(講義時の課題への取り組み・発言等)(45%)・レポートの成績(55%)を勘案し、評価する。				
テキスト	『日本の美術』第468号(『定家本源氏物語』冊子本の姿)。他は、プリント配布。				
参考書	講義内で、適宜紹介。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	「花桜折る少将」を読む際には、担当範囲を決め、校本を用いて伝本間の本文異同を調べる作業を行うことを予定しています。一つの作品を数回にわたって読みすすめますので、前回までの内容を確認・理解しておくようにしてください。				
講義計画					
第1回	「文学学」について 「文学学」とは何か。現行活字本と原典、写本の関係。				
第2回	『土左日記』の本文をめぐる 本文復原の手がかりと奥書について				
第3回	『源氏物語』の本文をめぐる (1) 原本と写本				
第4回	『源氏物語』の本文をめぐる (2) 河内本・青表紙本・大島本				
第5回	『源氏物語』の本文をめぐる (3) 諸本における柏木巻巻末の姿				
第6回	『堤中納言物語』についての概説と作業の説明				
第7回	『堤中納言物語』 「花桜折る少将」を読む (1)				
第8回	『堤中納言物語』 「花桜折る少将」を読む (2)				
第9回	『堤中納言物語』 「花桜折る少将」を読む (3)				
第10回	『堤中納言物語』 「花桜折る少将」を読む (4) ・まとめ				
第11回	『狭衣物語』についての概説				
第12回	『狭衣物語』 (抜粋) を読む (1)				
第13回	『狭衣物語』 (抜粋) を読む (2)				
第14回	『狭衣物語』 (抜粋) を読む (3)				
第15回	『狭衣物語』 (抜粋) を読む (4) ・まとめ				